

(要旨)

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

| | | | |
|---------|--|----------------|-----|
| 年 度 | 令和2年度 | 回 数 | 第3回 |
| 日 時 | 令和2年5月12日 | 午前9時30分～10時15分 | |
| 場 所 | 第2委員会室(本庁舎6階) | | |
| 出 席 者 | 渡部市長 野崎副市長 松谷副市長 村木教育長 南部議会事務局長 野口会計管理者 間野経営政策部長 東村総務部長 新井地域創生部次長 肥沼市民部次長 高柳環境安全部次長 肥沼資源循環部次長 山口健康福祉部長 谷村子ども家庭部次長 粕谷まちづくり部長 田中教育部長 欠席者:武岡地域創生部長 清水市民部長 平岡環境安全部長 大西資源循環部長 瀬川子ども家庭部長 | | |
| 次 第 | 1. 開会 2. 報告事項 (1) 市議会6月定例会提出予定案件・施政方針説明事項について (2) その他 3. その他 4. 閉会 | | |
| 会 議 経 過 | 次頁参照 | | |

1. 開会(市長あいさつ)

- ・緊急事態宣言により大変な状況の中、連休中の各部の対応について感謝を申し上げる。

特別定額給付金事業実施本部のスタッフには連休中も出勤いただき、市民のみなさんからの問い合わせ対応にあたっていただいたほか、健康福祉部は住宅確保給付金の相談、新型コロナウイルス感染の恐れがある方についての対応など、連日の対応いただいた。おかげ様で連休中、市内では大きな事件事故なく市民の皆さまは過ごせたのではないかと。

ここにきて急激に経済状況が悪化してきており、住むところが無くなってしまった方も相当数いるという報道がある。当市でも4月時点で例年の10倍を超える相談があるということで、セーフティネットとしての生活保護、住宅確保給付金を活用しながら市民生活の最後の砦として、なんとか市民の皆さんを守っていかねばならない。今後とも市民の生活を守るため庁内で各部においてしっかり連携していきたい。

- ・6月1日に緊急事態宣言の解除される可能性もあるが、その場合は、市の公共施設、小・中学校含め再開していく予定だが、公共施設については緊急事態宣言が解除されてもすぐに感染症の危険がなくなるわけではないので、「3密」を避ける工夫をしていく。一定の使用制限をかけた中で再開とするのか、各所管で検討していただき、再開に向けては本会議で合意したうえで再開したいと考えている。

再開に向けては、それぞれの施設や職場に必要な衛生消耗品の確保がどこまでできるかという課題もあるが、速やかに揃えていただくなど、準備していただきたい。また緊急事態宣言が解除されたら庁内の交代制勤務も終了する予定だが、成果と課題について各部で検証していただき、今後より一層、市役所全体の生産性を向上させるための交代制勤務、在宅勤務といったテレワークが実施可能ということが証明されたことを受け、課題については、しっかりと検証していきたい。

- ・4月、5月と庁内でいくつか事業が中止・延期になっており、市全体的としてスケジュールの遅れが生じている可能性があると思う。これらの遅れについては各部で、今年度中にどこまでを到達点としてリスケジュールするか見通しを立てていただき、場合によっては、次年度に送る事業等も出てくる可能性もあるので、メリハリを付けて、第2四半期以降のスケジュールを検討していただきたい。アフターコロナ、ウィズコロナとも言われているが、すぐに感染者数をゼロにすることは難しいので、第2波があるともいわれているが、引き続き臨機応変に対応できるように進めていくことが極めて重要である。

2. 報告事項

(1) 市議会6月定例会の日程について

- ・市議会6月定例会の日程・議事について、庁内で共有した。

(2) その他

・新型コロナウイルス感染症対策について

各公共施設の6月から再開に向け、消毒液やマスクなどの対策準備のため、補正予算を編成し対応していく。

3. その他

4. 閉会(野崎副市長)

交代制勤務により、通常の半分の人員で業務を行っており職員も疲れも出てきていると感じる。職員の健康管理にも目配りをしていただきながら、全庁的に市民のために頑張っていこう。